

ハッ場ダムをめぐる動き

2011年12月 出典：鈴木郁子

緑：反対市民側の動き 白：政府や民主党 黄色：国交省と推進派の動き

年月日	事項	備考
2011/12/1 14時	第4回 民主党国土交通部門分科会（松崎哲久座長）	表現弱く書直し
” 17時	「ダム検証のあり方を問う科学者の会」（代表：今本博健京大名誉教授）の院内集会開催	熱気にあふれる
” 18時	国交省「今後の治水対策に関する有識者会議」第1回	大臣、中頃中座
2011/12/2 8時	国土交通部門分科会、松崎座長の表現にクレームがつき訂正報告	
”	毎日 福島民報、下野、上毛新聞幹部現地視察	
2011/12/4	※反対派の長野原町内女性たち、急遽、地域の声を集める	5人の意見書
2011/12/5 14時	第5回 民主党国土交通部門分科会開催 ※表現にクレームつく ※長野原女性たちかけつけ、分科会冒頭で現地の声を訴える	※現地女性「意見招致」扱いに
2011/12/6 8時	第6回 民主党国土交通部門分科会 表現の訂正済みを配布	
”	前田国交相、記者会見で96名同一のパブコメを「問題なし」とした上に、「科学者の会」の討論会申し入れも必要性なしと述べる	5963件中5700 埼玉県議会関与
2011/12/7 14時	民主党国交部門会議で、検証作業の不備とりまとめ協議	
” 18時	国交省「今後の治水対策に関する有識者会議」その2（全検証終）	御用学者のみ
2011/12/8 午後	群馬県選出国會議員・「ハッ場ダムの地元住民の生活再建を考える議員連盟」16人、独自に前原政調会長に「意見書」提出	
”	市民8団体、前田国交相と前原政調会長に要望書提出	
”	民主党政調役員会で「本体工事に入ることは容認できず」	
2011/12/9	前原政調会長、藤村修官房長官と会談するが、承服せず	※発言物議醸す
” 午後	高山長野原町長、関東地整を通じ、前田国交相に要請文を	
2011/12/13 10時	群馬県議会ハッ場ダム特別委員会※推進意見書採択 16日本会議	賛成9 反対2
”	前原政調会長、治水利水の疑問点を国交省から受理の発表	
2011/12/14	民主党国交部門会議で、検証作業の不備をとりまとめ	
”	高山長野原町長、国交省で奥田健副大臣と面会し要請	
”	「ダム検証のあり方を問う科学者の会」有識者会議に批判声明文	
2011/12/15	第7回国交部門会議・ハッ場ダム分科会開かれるが、納得できないの声が多く、前原政調会長に20日に提出予定となった。	20日では予算計上まにあわず
”	前原政調会長、ダム建設の最終判断を藤村官房長官に委ねる	前原、変節兆し
”	自民党本部で「ダム推進国会議連」小淵、佐田議員ら気炎を挙ぐ	献金授与組なり
2011/12/16	大沢群馬県知事・石原都知事、継続を求め藤村官房長官に面談す	
”	民主党群馬選出議員ら、五十嵐文彦財務副大臣に計上不可を要請	
”	群馬県議会本会議で、意見書提出を賛成多数で可決	反対討論あり

〃 夜	前田国交相、報道陣に「造らないのは無責任だ」と語る ？（予算の閣議決定 24 日を前に、22 日の建設継続発表を固める）	18 日時点のマ スコミに流れる
2011/12/17 13 時半	「ストップさせる市民連絡会」住民訴訟 7 周年集会を都内で	
2011/12/18・19	「STOPハッ場ダム」現地にて署名活動する	24 筆集める
2011/12/19	見直し派群馬県連議員、前原政調会長に中止を訴える	
〃	民主党国土交通部門会議、賛否両論記した報告書を作成。前原政 調会長、(国交省から明確な説明なく)「党として着工認められな い」とし、政治判断を求める。	民主党関係者 「上方部へ行く と崩れる」と。
2011/12/20	「STOPハッ場ダム」署名を前田政調会長 前田国交相宛てに (中島衆院議員、前田政調会長に地元女性の手紙も添え、手渡し)	手文は事前に託 してあり
〃 午後	藤村官房長官に、群馬議員団ら面談す	
2011/12/20 14 時	国道 145 号 (ハッ場パイパス) 開通式	まるで自民政府
2011/12/21	最終局面まで賛否対立	
2011/12/21 夜	民主党国土交通部門会議、まとめ案を前原政調会長に提出	
2011/12/22	藤村官房長官、前原政調会長、前田国交相の双方に会い調整。再 提案示すが、前原政調会長、強行姿勢崩さず	
〃 15 時半	前田国交相、長野原町以下、関係一都五県に電話連絡	ペテン
〃 16 時～	民主党見直し派議員、国交省側の説明を受ける。しかし裁定【注】 は単に対応方針案にすり替えられ、前田大臣が今夕、現地入りす るとのクーデターの行動に、唾然とし怒って退出する議員続く	議員団は裁定案 を信じ、時間あ りと思っていた
〃 17 時 50 分	前田国交相が「お詫び会見」に現地会場へ。部屋に入るや否や拍 手とバンザイが起き、その後記者会見を行い私が責任持つと断言	集った地元民は 推進役員クラス
2011/12/23	民主党政務三役会議 (政府→野田佳彦総理・藤村官房長官／党側 →興石幹事長・樽床幹事長代理)。一時間余の会談にて前原政調会 長承諾するに至り、2012 年度予算に 7 億円を計上。合計 183 億円 民主党はまたもマニフェスト撤回し、火種を残す	
〃	民主党群馬県連会長代行・中島政希国会議員、離党の意志を示す	
2011/12/24 16 時	〃 〃 高崎駅内ホテルで離党の記者会見	
2011/12/26	建設に抗議し石関貴史衆議院議員、党副幹事長と遊説局長を辞任	

参考【藤村官房長官による裁定案】

- 1、現在作業中の利根川水系に関わる「河川整備計画」を早急に策定し、これに基づき基準点（八斗島）における「河川整備計画相当目標量」を検証する。
- 2、ダム検証によって建設中止の判断があったことを踏まえ、ダム建設予定だった地域に対する生活再建の法律を、川辺川ダム建設予定地を一つのモデルとしてとりまとめ、次期通常国会への提出を目指す。
- 3、ハッ場ダム本体工事については、上記の 2 点を踏まえ、判断する。

(3 項目にあるように、前田大臣も受け入れ、1 と 2 の条件を踏まえてから、本体工事を判断することになっていた。

<http://www.mlit.go.jp/common/000186641.pdf>

ところが、国交省の「ハッ場ダム建設事業に関する対応方針」、1 と 2 は今後の取り組みに入っているだけで、本体工事の条件にはなっていない)